がん化学療法指示書

登録番号　398
登録日　2024/8/15

レジメン名	Zmab+XELOX療法(1コース目のみ)
診療科・対象疾患	(外)CLDN18.2陽性の治癒切除不能な進行・再発の胃がん
投与間隔	3週毎
投与サイクル数	1コース

Chemo Navi

薬剤名	成分名	投与量	投与日
ゼローダ	カペシタビン	下記に記載	day1-14
ビロイ	ゾルベツキシマブ(Zmab)	800mg/㎡	day1
オキサリプラチン	オキサリプラチン	130mg/㎡	day1

治療内容

注射

滴下順	抗癌剤	薬剤(成分名)	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール day1	…	…	…	…	…	day21
Rp1		生理食塩液	100mL	任意	ルート確保・フラッシュ用	●						
Rp2		パロノセトロン0.75mg/50mL	1袋	30分	点滴静注メイン	●						
		デキサート6.6mg/2mL	1瓶									
		デキサート1.65mg/0.5mL	2管									
		ポララミン5mg/1mL	1管									
Rp3		生理食塩液	50mL	全開	点滴静注メイン	●						
Rp4	癌	ビロイ(ゾルベツキシマブ)	800mg/㎡	任意*1	点滴静注メイン	●						
		注射用水(溶解用)	40mL/㎡ *2									
		生理食塩液	500mL									
		生理食塩液	100mL									
		※総量600mLにする										
Rp5		生理食塩液	50mL	任意	点滴静注メイン	●						
		※ビロイ(ゾルベツキシマブ)と同じ速度で投与										
Rp6	癌	オキサリプラチン	130mg/㎡	120分	点滴静注メイン	●						
		5%大塚糖液	250mL									
		デキサート1.65mg/0.5mL	1管									

内服

カペシタビン:朝・夕食後30分以内に1日2回、day1-14に内服(Day1は夕食後から内服開始)
1.36㎡未満:1200mg/回
1.36㎡以上～1.66㎡未満:1500mg/回
1.66㎡以上～1.96未満:1800mg/回
1.96㎡以上:2100mg/回

その他必要薬剤	・アプレピタント125mg:1cap分1　ルートキープ時に内服(day1) ・アプレピタント80mg:1cap分1　朝食後に内服(day2,3) ・デカドロン4mg 2錠分2朝夕食後に内服(day2-4)
総投与時間	約6時間00分
血管外漏出リスク	ビロイ(ゾルベツキシマブ):非壊死性抗がん剤 オキサリプラチン:炎症性抗がん剤
投与時の注意事項	＜ビロイ(ゾルベツキシマブ)＞ ・フィルター付きルートで投与する。 ・希釈後、室温保存で6時間以内に投与を完了すること。 ・投与開始直後より、悪心/嘔吐症状が起こる可能性があるため、1コース目は入院下で行うこと。 ・アレルギー反応(過敏症)/Infusion reaction/悪心/嘔吐症状Grade2が出現した場合は、Grade1に回復するまで投与中止、回復後に減速して再開する。また、次回投与時は予防薬の前投与を行い、本剤の推奨投与速度表に従って投与する。 *1: 忍容性が良好な場合は、投与開始から30～60分後以降は徐々に投与速度を上げることが出来る。 ・50mL/hr(30分)→75mL/hr(30分)→以降250mL/hrで投与する(合計2時間以上かけて投与する)。
備考欄	＜ビロイ(ゾルベツキシマブ)＞ ・初回800mg/㎡、2コース目以降は600mg/㎡で投与する。 ＜ビロイ(ゾルベツキシマブ)調製時の注意事項＞ *2: ビロイ(ゾルベツキシマブ)1瓶あたり注射用水5mLで溶解する。

がん化学療法指示書

登録番号　398
登録日　2024/8/15

レジメン名	Zmab+XELOX療法(2コース目以降)
診療科・対象疾患	(外)CLDN18.2陽性の治癒切除不能な進行・再発の胃がん
投与間隔	3週毎
投与サイクル数	PDになるまで

Chemo Navi

薬剤名	成分名	投与量	投与日
ゼローダ	カペシタビン	下記に記載	day1-14
ビロイ	ゾルベツキシマブ(Zmab)	600mg/㎡	day1
オキサリプラチン	オキサリプラチン	130mg/㎡	day1

治療内容

注射

滴下順	抗癌剤	薬剤(成分名)	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール day1	…	…	…	…	…	day21
Rp1		生理食塩液	100mL	任意	ルート確保・フラッシュ用	●						
Rp2		パロノセトロン0.75mg/50mL	1袋	30分	点滴静注メイン	●						
		デキサート6.6mg/2mL	1瓶									
		デキサート1.65mg/0.5mL	2管									
		ポララミン5mg/1mL	1管									
Rp3		生理食塩液	50mL	全開	点滴静注メイン	●						
Rp4	癌	ビロイ(ゾルベツキシマブ)	600mg/㎡	任意*1	点滴静注メイン	●						
		注射用水(溶解用)	30mL/㎡ *2									
		生理食塩液	500mL									
		生理食塩液	100mL									
		※総量600mLにする										
Rp5		生理食塩液	50mL	任意	点滴静注メイン	●						
		※ビロイ(ゾルベツキシマブ)と同じ速度で投与										
Rp6	癌	オキサリプラチン	130mg/㎡	120分	点滴静注メイン	●						
		5%大塚糖液	250mL									
		デキサート1.65mg/0.5mL	1管									

内服

カペシタビン:朝・夕食後30分以内に1日2回、day1-14に内服(Day1は夕食後から内服開始)
1.36㎡未満:1200mg/回
1.36㎡以上～1.66㎡未満:1500mg/回
1.66㎡以上～1.96未満:1800mg/回
1.96㎡以上:2100mg/回

その他必要薬剤	・アプレピタント125mg:1cap分1　ルートキープ時に内服(day1) ・アプレピタント80mg:1cap分1　朝食後に内服(day2,3) ・デカドロン4mg 2錠分2朝夕食後に内服(day2-4)
総投与時間	約5時間
血管外漏出リスク	ビロイ(ゾルベツキシマブ):非壊死性抗がん剤 オキサリプラチン:炎症性抗がん剤
投与時の注意事項	＜ビロイ(ゾルベツキシマブ)＞ ・フィルター付きルートで投与する。 ・希釈後、室温保存で6時間以内に投与を完了すること。 ・投与開始直後より、悪心/嘔吐症状が起こる可能性があるため、1コース目は入院下で行うこと。 ・アレルギー反応(過敏症)/Infusion reaction/悪心/嘔吐症状Grade2が出現した場合は、Grade1に回復するまで投与中止、回復後に減速して再開する。また、次回投与時は予防薬の前投与を行い、本剤の推奨投与速度表に従って投与する。 *1: 忍容性が良好な場合は、投与開始から30～60分後以降は徐々に投与速度を上げることが出来る。 ・75mL/hr(30分)→150mL/hr(30分)→以降300mL/hrで投与する(合計2時間以上かけて投与する)。
備考欄	＜ビロイ(ゾルベツキシマブ)＞ ・初回800mg/㎡、2コース目以降は600mg/㎡で投与する。 ＜ビロイ(ゾルベツキシマブ)調製時の注意事項＞ *2: ビロイ(ゾルベツキシマブ)1瓶あたり注射用水5mLで溶解する。